

令和3年度第1回佐倉市文化財審議会（書面会議） 会議録

資料送付 : 令和3年7月20日

回答取りまとめ日 : 令和3年8月25日

○参加委員（9名）

委員長 濱 島 正 士
副委員長 遠 山 成 一
委員 金 丸 和 子
委員 高見澤 美 紀
委員 外 山 信 司
委員 是 澤 博 昭
委員 高 橋 龍三郎
委員 原 正 利
委員 原 田 一 敏

○事務局

佐倉市教育委員会
教育部文化課

○傍聴者

なし（書面会議のため）

《会議の方法について》

新型コロナウイルス感染症対策のため、書面会議の形式として開催しました。

書面会議は、各委員へ会議資料及び会議資料の説明等を送付し、議事についての採決表を事務局に返送していただく方法としました。

《次 第》

- 1 委員紹介
- 2 議事
 - (1) 委員長・副委員長の選出について
 - (2) 報告事項
 - ①令和元年度・令和2年度事業報告について
 - ②令和3年度事業計画について
- 3 その他（連絡事項）

《会議の内容》

1 委員紹介

別添1及び別添2により説明。

2 議事（1）委員長・副委員長の選出について

別添1により説明。

議事（2）報告事項

①令和元年度・令和2年度事業報告について

②令和3年度事業計画について

別添1及び別添4により説明

3 その他（連絡事項）

別添1により説明。

《採決結果》

議 事	承認	不承認	採決結果
（1）委員長・副委員長の選出について	9	0	承認
（2）報告事項 ①令和元年度・令和2年度事業報告について ②令和3年度事業計画について	9	0	承認

《委員から寄せられた意見及び質問並びに回答》

議事（２）報告事項 ①令和元年度・令和２年度の事業報告について

○委員質問

事業報告のうち、感染拡大防止のため中止となったイベントと、対策を講じて開催したイベントがありますが、中止と決行の基準あるいはボーダーライン等の決まりがあるのですか。

○事務局回答

一般の事業者等と同様に、国県からの要請等に示される基準の中で、事業ごとに実施又は中止の判断を行っております。

井野長割遺跡 15 周年記念の縄文展、講演会等に関しては、15 周年記念という特別な機会であること、また、文化庁の補助金を受けて実施する事業であったことから、万全の感染防止対策を講じながら、実施することといたしました。

○委員感想

令和２年度の武家屋敷・旧堀田邸・順天堂記念館の入館者が激減していることは、新型コロナウイルス禍のためやむをえないことであり、予想されたことではありますが、数字で表れるとショックです。

○事務局回答

コロナ禍による入館者減への対策として、昨年度より県内小中学校の団体見学を呼び込むようプロモーションを行っています。修学旅行など既存の校外学習の代替として検討する学校も多く、十分な手ごたえがありました。

○委員意見

平井家住宅の継続的な補修が必要と思います。

○事務局回答

旧平井家住宅については、将来にわたる活用方策を産業振興課において検討することとなっており、それまでの間、文化課において国の登録有形文化財の価値を損なわぬよう、継続的な維持補修や管理を行いたいと考えております。

○委員意見

〔関連して余談〕平井家住宅の南側、広小路を挟んだ反対側の家が壊されて更

地になりました。変則的な交差点の改良（バスが市民体育館や三の丸自由広場方面へ入れるように広小路の道幅を部分的に広げる）や平井家と一体的な活用のため、公有地化できると、今後のメリットが大きいと思います。文化課にお願いするのは筋違いですが、どこかで検討していただきたく存じます。

○事務局回答

旧平井家住宅南面の道路は、都市計画道路としての位置付けがなされており、市としても当該道路の拡幅は課題と捉えております。

議事（２）報告事項 ②令和３年度事業計画について

○委員意見

白井田宿内砦跡の指定は、審議会・事務局の連携を「密」にして滞りなく進めたいと思います。

○事務局回答

次回会議にてご審議いただくよう予定しておりますので、ご指導をお願いいたします。

○委員意見

様々な行事や講演会については、新型コロナウイルス禍という状況ですが、状況に応じて規模の縮小等の適切な対応を取り、できるだけ対面で開催できる可能性を追求していただきたいと思います。

○事務局回答

昨年度の事業実施の経験を踏まえて、できる限り対面での開催を検討してまいります。

○委員意見

「文化財の保存及び活用に関する総合的な計画」について、早めの対応が必要です（時間が意外にありません）。特に、「活用」の面で好ましくない方向へ行かないよう、こちら側のスタンスを確立し準備をしておかなければなりません。研修会なども行う必要があるかもしれません。

○事務局回答

間もなく計画策定のための協議会を立ち上げ、策定を進めていく予定であり、そのスケジュールや進捗等について随時審議会へもお知らせしてまいります。

3 その他

○委員意見

新型コロナウイルス禍という状況ですが、できるだけ対面での委員会の開催を追求してください。出席できない方はオンラインで参加するといったオンラインとの併用や全面オンラインも可能と存じます。「書面」方式ですと、既成事実追認・事後承認的になりがちで、議論が深まりません。教育長をはじめ、市・市教育委員会幹部のお考えも直接伺いたいと思います。

○事務局回答

今回は議題がほぼ報告事項のみであったため、書面会議とさせていただきましたが、次回今年度第2回会議では、文化財指定の審議も予定しておりますので、対面方式での開催をと考えております。一方で、オンライン方式の可能性についても検討してまいります。

○委員意見

「歴史のまち佐倉」と言いながら歴史や文化財を軽視することがないよう、当審議会の責務はますます大きいものがあると思います。

○事務局回答

市の内部では感染症対策や災害対策などの重要度が増し、財政状況もますますひっ迫してはおりますが、その中でも歴史や文化を軽視することがないよう、事務局としても努めてまいります。